

研修テーマ

## No.053 「私らしく」を支える看取り

開催日時 令和5年12月18日 10:00~16:30 / 会場 兵庫県看護協会会館 研修室3

講師 兵庫医科大学病院 緩和ケア認定看護師  
乾 貴絵

受講者数 45名

### プログラム

- ・「私らしく」を支える
- ・看取りのプロセス
- ・看取りの看護に必要な知識と技術
- ・遺族へのグリーフケア
- ・「死にたい」と訴える方への関わり



### 受講者の声

- 「私らしく」とはということなのか、看取りのプロセスや技術、エンゼルケアからグリーフケアまで講義して頂き学ぶことができました
- 病棟で活用していける知識を学べた
- テーマにもある「私らしく」を、どう考えていくか、またその考えを深める機会になった
- 患者や家族対応や声掛けなど悩んでいたことが解決できた
- 医療に身を置いている以上、いつ何時関わるか分からないのが「死」であるため、看取りの少ない病棟だから役に立たないわけでは決してなく、むしろ頻度が少ないからこそきちんと知識を身に着け、心構えを持って日々ひとに関わっていきたいと思った

### 担当者からコメント

看護師はあらゆる場で患者の「死」と向き合うことがあります。誰にでも訪れる「死」ですが、死のその時までその人が「私らしく」生きることができるよう援助することが大切です。今回の講義では、実際にどのような声かけをするのかといった具体例を沢山話して頂きました。エンゼルケアにおいても、根拠に基づいて行う技術について学びました。忙しい業務の中、優先すべきことは何か、受講者それぞれが考える機会となったと考えます。「私らしく」を支える看取りとは、ということか考える中で自身の看護を振り返ることができ、新たな課題を見出すことができた研修となりました。